

行雲流水

No.244 令和4年8月30日発行

私なりの「旅」の楽しみ方

校長 寒河江 正人

今年、初めて「**巡礼の旅**」を経験した。

5月から少しずつ、少しずつ、**足かけ3ヶ月**をかけての**ささやかな旅**である。

12年に1度の「**最上三十三観音**」の御開帳が、**5月1日**から始まったのである。

若い生徒諸君には、何のことやら、全く興味・関心がないと思うのだが、・・・。

「**最上三十三観音**」の始まりは、**室町時代**までさかのぼる。

国内でも有数の歴史をもつ山形県**村山・最上地方**に点在する「**巡礼の地**」である。

観音様は、古くから長く庶民の間で親しまれ、信仰されてきた仏様。

一心に唱えれば、「33の姿」に変えて、苦悩から救ってくださると伝えられてきた。

「**三十三観音信仰**」は、この「**33という数**」に由来する。

「**最上三十三観音**」は、**観音堂**の名前にそれぞれ**集落名**が付いている。

まず、そのスタートは、**第1番札所「若松」**。

そして、**第2番札所「山寺」**というように、

最終の**第33番札所「庭月」**まで**33カ所**を巡る。

※実際には、「**番外**」として、1カ所設けられているので、合計**34カ所**になる。

何百年も前の人々が歩いたであろう「**歴史の道（旧道）**」をたどる。

いにしえの人々が眺めたであろう**山河の風景**を「**時をこえて**」私も経験する。

※もっとも、現代の私たちは、自家用車という文明の利器を使って楽な旅だが、・・・。

観音堂を管理しているお寺は、「**別当**」と呼ばれる。

お寺ではなく、地区の住民が持ち回りで「**別当**」を務めている集落もある。

「**旅の楽しみ**」は、旅先で出会った「**人との対話**」。

「**ものの見方、考え方**」「**学び方や生き方**」に気付かせてくださる方もいる。

旅は、人と出会い、様々なことに気付かせてくれる貴重な経験の機会である。